

住民自治協議会だより

第34号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876
長野市大字山田中2545

TEL026-229-1511 FAX026-229-2074
E-mail otagiri-jitikyou@ngn.janis.or.jp

小田切夏まつり 3年ぶり開催

夏祭り実行委員会

第2回小田切夏まつりは8月14日に3年ぶりに開催し、約130名がお盆の一日を楽しみました。昨年は雨で中止、今年は新型コロナウイルス感染症が最高件数を更新する中で実行委員会は、慎重に検討を重ね、模擬店と物品販売は取り止め、専門業者のキッチンカーを依頼することにしました。当日並んだ4台のキッチンカーは、イワナ塩焼き、串焼きとポップコーン、抹茶系ドリンク、果実飴類とバラエティーに富んでおり会場が賑わいました。



第2回
小田切夏まつり
令和4年 /
8月14日(日)
17:00~20:00
旧小田切小中学校グラウンド

- ・盆踊り
- ・太鼓 (みんなで、たごう!!)
- ・ゲームコーナー
期和学園 (ゲーム機、お菓子)
- ・キッチンカー
①まはるば (イワナ塩焼き、高野煎成生ハム)
②利休抹茶本舗 (抹茶系ドリンク)
③元祖飴屋 (果実飴・わたあめ)
④串焼き屋台 など

【雨天中止】
※本日は、コロナウイルス感染症対策を実施しております。
※雨天時の体調不良の際はご参加をご遠慮ください。マスクをご持参ください。

小田切地区 夏祭り実行委員会 TEL026-229-1511



盆踊りは定番曲に加え、かつての「若人小田切」の小田切太鼓をヤグラに据え復活させ、長野翔和学園の太鼓演奏やゲームコーナーとともに盛り上げ楽しみました。

中学校グラウンド初めての夏祭り、特に照明等設備関係が心配されましたが、次年度もこの会場で開催のめどが付きましました。

市民運動会 今年も中止 4年連続

新型コロナ感染で中止が続く市民運動会。今も第7波が収まらない中、地公連はやむなく中止を決断しました。参加者の高齢化に対応する新種目の選考、またコロナ下で住民が一堂に会す機会の再考が求められます。

人事異動

●地域たすけあい事業コーディネーター (社協)

<新任> 宮島 望 (8/22付) のぞむ ; <退任> 山口 明子 (8/31付)

日本一の門前大縁日に出店 ～善光寺御開帳2022～

日本一の門前大縁日は4月2日～6月26日、中央通り表参道を中心に開催され、小田切住自協は5月8日にセントラルスクエアでの「地域の魅力発信」ブースに出展者名(屋号)ふるさと「ド真ん中」で出展しました。

出品はアマわらび、山フキ、セリ、ノビロなどの山菜や地元活動団体の手芸・工芸品、エルダーフラワー関連商品、小田切八景切り絵はがきセットなどです。好天に恵まれましたが、会場の賑わいは予想より少な目でした。しかし、近隣ブースの静岡や福井など北陸各都市とは交流ができ、ご縁も生まれました。



小田切八景切り絵展 ～ギャラリープラザ長野・ちよっ蔵おいらい館～

市内2か所で開催しました。まず、八十二文化財団ギャラリープラザ長野(昭和通り)で善光寺御開帳期間中の6月23日から28日までの6日間開き、約150名の来場がありました。次に東町のちよっ蔵おいらい館で7月20日から31日まで12日間行い、こちらも約150名が訪れました。

いずれの会場も柳沢京子作の八景切り絵原画をメインに、地区紹介ポスター4点と小田切の史跡や風景写真20点程を展示しました。切り絵作品は添えられた歌とともに多くのみなさんに大変喜んでもらい、訪れた全員に小田切地区案内マップを渡し地域を知ってもらう大きな機会にもなりました。

一方、絵はがきも好評で県外からも問い合わせがあり、郵送などで対応し今までに350部を超えました。

ギャラリープラザ
長野会場



ちよっ蔵
おいらい館会場



ひとり暮らし高齢者への訪問活動

福祉委員会はひとり暮らし高齢者の集いを例年実施してきましたが、ここ3年は新型コロナウイルス感染拡大が依然収まらず中止が続いている状況です。今年も区福祉委員が手土産で訪問し、健康状態や身の回りの状況など会話しながら日々の様子を伺いました。



消防小田切分団全国大会へ 小型ポンプ操法

消防小田切分団（曾根原正昭分団長）は、6月26日の小型ポンプ操法長野市大会で準優勝し、7月3日の長野協会大会では見事優勝。分団初の県大会出場は7月10日松本市で行われここでも優勝の快挙、第29回全国大会に出場します。大会は全国を2ブロックに分け交互に出場、長野県は今年出場年に当たり、24チームが10月29日（土）千葉県市原市の県消防学校で技を競います。

大会は新型コロナの影響で3年ぶりの開催で、合同訓練は中止されるなど練習が制限される中での快進撃です。全国大会でも活躍が期待されます。



早朝練習



県大会



協会大会



令和4年度 支所発地域力向上支援金事業

2団体より2件の応募があり、5月26日の選考委員会にて審議の結果、2件への支援が決められました。支援金総額は424千円です

1	「マレットゴルフ会」 ～マレットゴルフ練習場の設置～ 竹内 弘司 代表 支援額 171千円（要望額171千円）	住民が運動する機会が少なくなる中、「山里整備隊」が整備する中学校グラウンドにマレットゴルフのコースを数ホール設け、気軽にできる練習の場としたい。
2	「NPO法人 長野翔和学園」 ～地域住民との交流の場づくり～ 望月 明彦 代表 支援額 253千円（要望額253千円）	日方の県道脇に東屋を建てた。ここに駐車場を設け、周辺環境も整備し、地域住民や訪れる人が気軽に立ち寄れる休憩スペースとなる交流の場をつくりたい。

長沼小児童わらび狩り招待 長沼水害復興支援プロジェクト

プロジェクトは、5月22日に小野平アマわらび園に、長沼小学校4～6年生8名を含む24名を招待しました。これは2年前からの計画で、新型コロナ下で延期が続きようやく実現し、みなさんに楽しんでもらえました。

同時に長沼支援農場で、お盆前の収穫となる枝豆の播種体験もしました。



荻原市長訪問 住自協との懇談会と視察

市長の各地区住自協との懇談会、小田切地区は5月27日に住自協三役と副会長が出席しました。懇談の後、歴史民俗資料室と三竈神社を視察。中学校記念館



では、選手時代の兄弟のサインと再会、三竈神社では風穴の冷気を肌を感じ、神社に立っはまさに靈気を感じるスポットとの感想でした。

空き家対策講座 和輪話の会

第20回和輪話の会は、7月25日第3次小田切地区地域福祉活動計画を踏まえ、空き家対策出前講座を開催。市建築指導課空き家対策室の小林一夫室長を講師に、空き家の現状と支援制度、他地区での取り組みなど聞きました。今後、地区内空き家の現状把握と空き家バンクへの登録促進が課題です。



老人クラブ草刈り 伐採枝片づけ焼却

6/8



長野翔和学園東屋完成お披露目会

6/9



第72回社会を明るくする運動



ポスター（B2判）制作



「小田切の里」

長沼水害復興支援PJ枝豆贈呈 長沼支所

8/20



「観光案内図」



やまびこ

毎回このタイミングで新型コロナの波が来る、今回は7月からの第7波。6波をはるかに超える感染者数は2倍超。ワクチンの4回接種もかかる時はかかるが重症化は防げるという。甲子園の土も持ち帰り禁止で選手たち最高の思い出が手元に置けないのも淋しい限り。

3年ぶりの夏まつり。台風接近で荒天気配の中、初の中学G開催。次回につながるデータもとれた。